

情報科目の今後の在り方について（検討素案）

中教審教育課程企画特別部会
「論点整理」（平成27年8月26日）
補足資料の一部補訂

共通教科「情報」（現行）

社会と情報

- 1 情報の活用と表現
- 2 情報通信ネットワークとコミュニケーション
- 3 情報社会の課題と情報モラル
- 4 望ましい情報社会の構築

いずれか1科目（2単位）を選択必修

情報の科学

- 1 コンピュータと情報通信ネットワーク
- 2 問題解決とコンピュータの活用
- 3 情報の管理と問題解決
- 4 情報技術の進展と情報モラル

改訂の必要性

高度な情報技術の進展に伴い、文理の別や卒業後の進路を問わず、**情報の科学的な理解に裏打ちされた情報活用能力**を身に付けることが重要

育成する資質・能力 「情報活用能力」

- 情報とそれを扱う技術を問題の発見・解決に活用するための科学的な考え方
- 情報通信ネットワークを用いて円滑にコミュニケーションを行う力

高度情報社会に対応する情報教育

- 情報の量的な増大と質的な変化に対応し、適切な情報を主体的に選択し、活用していく力
- 情報モラル、知的財産の保護、情報安全等に対する実践的な態度
- 情報社会に主体的に参画し寄与する能力と態度

新科目のイメージ

情報と情報技術を問題の発見と解決に活用するための科学的な考え方等を育成する共通必修科目

- コンピュータと情報通信ネットワーク
- 問題解決の考え方と方法
- 問題解決とコンピュータの活用
- 情報社会の発展と情報モラル

上記科目の履修を前提とした発展的な内容の選択科目についても検討

関連して、現行中学校技術・家庭（技術分野）における「情報に関する技術」の指導内容の充実、及び小・中学校段階からの各教科等における情報活用能力を育成するための指導の充実についても、検討が必要。

新科目の実現に向けて、学校・教育委員会等における計画的な準備が必要

- ・他の各教科・科目等との連携（教科横断的な「カリキュラムマネジメント」を通じた教育内容の組織的配列、必要な資源の投入等）
- ・情報科担当教員の指導力向上
（情報科免許状保有者の採用と計画的配置、免許外教科担任及び臨時免許状により担当している教員の免許状取得の促進等）
- ・ICT環境の整備（教育用コンピュータ、無線LAN環境等の計画的整備） 等

平成28年度中 中央教育審議会答申
その後、高等学校学習指導要領改訂
平成34年度入学者から実施
（過去の例から想定されるスケジュール）